

12月1日(木)
第1会場 屋内ホール

開会の辞

12月1日(木) 7:50~8:00 第1会場

会長：楠 正人

シンポジウム2 (S2-1~6)

12月1日(木) 8:00~10:00 第1会場

※外科周術期感染管理認定医・教育医制度委員会が指定するプログラム

「外科感染症教育の創造と変革」

座長：古川清憲（日本医科大学外科）

久保正二（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学）

特別発言：平田公一（札幌医科大学第一外科教授）

S2-1 『大学病院における外科感染症教育の課題』

広島大学病態制御医科学講座外科

大毛宏喜、清水 亘、渡谷祐介、上神慎之介、中島 亮、橋本泰司、首藤 毅、
上村健一郎、村上義昭、末田泰二郎

S2-2 『日本の手術に必要な外科感染症対策とは』

東邦大学医療センター大橋病院外科

草地信也、長尾二郎、斉田芳久、渡邊 学、中村陽一、榎本俊行、浅井浩司、
岡本 康、有馬陽一、桐林孝治、渡邊良平、齋藤智明、佐藤淳子

S2-3 『周術期感染管理教育体制に向けてーパラメディカルへの教育の重要性』

埼玉医科大学国際医療センター

小山 勇

S2-4 『Surviving Sepsis Campaign (SSC) Guidelines：日本救急医学会（JAAM）sepsis 疫学データ
集積研究（JAAM-SR）を利用した sepsis 患者に対する抗菌薬投与法の教育』

川崎病院市立川崎病院救命救急センター

田熊清継、大城健一、石垣孝司、春成 学、進藤 健、近藤英樹、権守 智、
竹村成秀、齋藤 豊、郷内志朗、高橋俊介、伊藤壮一

S2-5 『関連病院を含めた大学としての教育』

名古屋市立大学大学院医学研究科消化器外科学分野

竹山廣光、若杉健弘、木村昌弘

S2-6 『肝胆膵外科における周術期感染管理と教育効果』

帝京大学ちば総合医療センター外科

安田秀喜、今井健一郎、山崎将人、平野敦史、村田聡一郎、小杉千弘、手塚 徹、
幸田圭史

理事長講演**12月1日(木) 10:00～11:00 第1会場**

「外科感染症 Annual Report 2011」

日本外科感染症学会理事長、学校法人東邦大学理事長、日本抗生物質学術協議会理事長

炭山嘉伸

司会：楠 正人（三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科学）

特別講演**12月1日(木) 11:00～12:00 第1会場**

「永遠の聖地伊勢神宮」

フリーライター

千種清美

司会：楠 正人（三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科学）

第133回ICD講習会**12月1日(木) 14:30～16:30 第1会場**

「Healthcare associated infections ～外科医が知っておくべきトピックス～」

司会：織田成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教授）

楠 正人（三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科学教授）

- 1 『Surgical Site Infection と医療費～MRSA のインパクト～』
大阪労災病院外科
清水潤三
- 2 『Surgical Site Infection 日本の現状と最新の防止対策』
山形大学医学部附属病院検査部感染制御部
森兼啓太
- 3 『重症感染症～外科的マネージメントと血液浄化療法のタイミング～』
滋賀医科大学外科学講座
清水智治
- 4 『外科医が知っておくべき人工呼吸関連肺炎（Ventilator-associated pneumonia:VAP）』
三重大学医学部附属病院救命救急センター
今井 寛

12月1日(木)
第2会場 Aスタジオ

スポンサードシンポジウム 1 (SP1-1 ~ 4) 12月1日(木) 8:00 ~ 9:30 第2会場
Asian Symposium

「アジア各国における大腸手術後 SSI 対策の現状

(Prevention of SSI after colorectal surgery - Asian perspectives)」

座長：長谷和生（防衛医科大学学校病院外科学講座）

森兼啓太（山形大学医学部附属病院検査部感染制御部）

特別発言：富田尚裕（兵庫医科大学外科学講座下部消化管外科教授）

SP1-1 『Prevention of SSI after colorectal surgery- Korean perspectives』

Department of Surgery, Kyung Hee University at Gangdong,
Kyung Hee University School of Medicine

Suk-Hwan Lee

SP1-2 『未着』

NYAM COLON, RECTAL & GENERAL SURGERY Mount Eizabeth Medical Center

Denis Nyam, M.D.

SP1-3 『Prevention of Surgical Site Infection (SSI) after colorectal Surgery』

Attending surgeon, Mackay Memorial Hospital;
Professor of surgery, Taipei Medical University

Tzu-Chi Hsu

SP1-4 『Current practice to prevent surgical site infections in Japan』

Infection Control and Prevention, Hyogo College of Medicine

Yoshio Takesue

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー 1 (LS1) 12月1日(木) 12:10 ~ 13:00 第2会場

「外科領域におけるカンジダ症の病態と診断・治療～多施設前向き検討からの報告～」

産業医科大学医学部第一外科学准教授

岡本好司

司会：竹末芳生（兵庫医科大学感染制御学主任教授）

共催：アステラス製薬株式会社

イブニングセミナー 1 (ES1) 12月1日(木) 18:00 ~ 18:50 第2会場

「我が国の周術期栄養管理の現状と課題」

帝京大学医学部外科学講座教授

福島亮治

司会：宮崎 勝（千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教授）

共催：味の素製薬株式会社

12月1日(木)
第3会場 Bスタジオ

シンポジウム4 (S4-1 ~ 6)

12月1日(木) 8:00 ~ 9:30 第3会場

「外科感染症における分子生物学的研究」

座長：北川雄光（慶應義塾大学医学部外科学）

川原克信（大分大学医学部第2外科）

特別発言：松田直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野教授）

- S4-1 『外科領域における敗血症バイオマーカー・プレセプシンの有用性』
高知医療センター消化器外科
福井康雄
- S4-2 『胆道再建を伴う肝切除症例におけるプロカルシトニン値と感染性合併症の検討（第2報）』
名古屋大学大学院医学系研究科 外科感染症寄附講座¹⁾、同 腫瘍外科²⁾、同 麻酔蘇生医学³⁾
板津慶太^{1,2)}、菅原 元^{1,2)}、横山幸浩²⁾、江畑智希²⁾、國料俊男²⁾、角田伸行²⁾、
伊神 剛²⁾、深谷昌秀²⁾、上原圭介²⁾、吉岡裕一郎²⁾、貝沼関志³⁾、柳野正人²⁾
- S4-3 『生体肝移植術後のCD4陽性リンパ球ATP活性測定（ImmuKnow assay）による免疫抑制状態の把握と感染症対策について』
三重大学大学院医学系研究科肝胆膵・移植外科
水野修吾、栗山直久、大澤一郎、岸和田昌之、濱田賢司、白井正信、櫻井洋至、
田端正己、伊佐地秀司、
- S4-4 『パラフィン包埋組織を用いたISH法およびPCR法による分子生物学的診断法の現状』
東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科¹⁾、東邦大学医学部病院病理学講座²⁾、
日本大学薬学部分子細胞学研究室³⁾
中山晴雄¹⁾、篠崎 稔²⁾、職 珠玉²⁾、大久保陽一郎²⁾、笹井大督²⁾、若山 恵²⁾、
根本哲生²⁾、村山そう明³⁾、岩渕 聡¹⁾、渋谷和俊²⁾
- S4-5 『敗血症マウスにおける白血球-血管内皮細胞相互作用の二光子レーザー顕微鏡下生体内リアルタイムイメージング』
三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科学¹⁾、同 神経再生医学・細胞情報学²⁾
田中光司¹⁾、小池勇樹¹⁾、松下航平¹⁾、内田恵一¹⁾、森本雄貴¹⁾、川村幹雄¹⁾、
沖上正人¹⁾、橋本 清¹⁾、間山裕二¹⁾、三枝 晋¹⁾、奥川喜永¹⁾、小林美奈子¹⁾、
毛利靖彦¹⁾、溝口 明²⁾、楠 正人¹⁾
- S4-6 『食道癌周術期呼吸器合併症とS100A12、HMGB-1との関連についての検討』
防衛医科大学校 病院外科学講座¹⁾、同 研究センター外傷研究部門²⁾
高畑りさ¹⁾、小野 聡²⁾、辻本広紀¹⁾、平木修一¹⁾、矢口義久¹⁾、熊野 勲¹⁾、
松本佑介¹⁾、吉田一路¹⁾、木村暁史¹⁾、堀口寛之¹⁾、野村信介¹⁾、齋藤大蔵²⁾、
長谷和生¹⁾

ランチセミナー 2 (LS2) 12月1日(木) 12:10～13:00 第3会場

「急性胆道炎診療ガイドライン改訂の背景とポイント」

国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授

吉田雅博

司会：跡見 裕（杏林大学学長）

共催：大正富山医薬品株式会社

イブニングセミナー 2 (ES2) 12月1日(木) 18:00～18:50 第3会場

「外科感染症への新たな治療提案～CD 腸炎・多剤耐性菌予防の観点から～」

東邦大学医療センター大橋病院外科教授

草地信也

司会：海野倫明（東北大学大学院医学系研究科消化器外科学分野肝胆膵外科教授）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

12月1日(木)
第4会場 Cスタジオ

パネルディスカッション 2-1 (PD2-1-1 ~ 10) 12月1日(木) 8:00 ~ 10:00 第4会場

「肝胆膵手術の新しい周術期感染管理(肝)」

座長：高山忠利(日本大学医学部消化器外科)

若林 剛(岩手医科大学外科学講座)

特別発言：岡 正朗(山口大学医学部附属病院院長・山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学教授)

PD2-1-1 『肝切除術における周術期感染管理』

大阪市立大学肝胆膵外科学

栄 政之、竹村茂一、上西崇弘、坂田親治、浦田順久、大畑和則、金田和久、
西岡孝芳、野沢彰紀、松田常美、新川寛二、清田誠志、久保正二

PD2-1-2 『肝切除後 SSI の危険因子と予防的抗菌薬投与に関する検討』

国立がん研究センター東病院上腹部外科

檜垣栄治、後藤田直人、加藤祐一郎、木下敬弘、高橋進一郎、小西 大、
木下 平

PD2-1-3 『肝細胞癌術後感染性合併症の評価とその予防対策』

関西医科大学外科

海堀昌樹、石崎守彦、松井康輔、松島英之、中竹利知、権 雅憲

PD2-1-4 『胆道再建を伴う肝切除例の周術期感染症対策』

名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科

菅原 元、江畑智希、横山幸浩、伊神 剛、高橋 祐、國料俊男、角田伸行、
深谷昌秀、板津慶太、上原圭介、吉岡裕一郎、柳野正人、

PD2-1-5 『肝切除後臓器体腔感染発生の危険因子』

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科¹⁾、同 感染制御センター²⁾内 雄介¹⁾、竹内裕也¹⁾、尾原秀明¹⁾、星野好則¹⁾、和田則仁¹⁾、篠田昌宏¹⁾、
石井良幸¹⁾、河内茂行¹⁾、神野浩光¹⁾、長谷川博俊¹⁾、田邊 稔¹⁾、滝田祐子²⁾、
高野八百子²⁾、岩田 敏²⁾、北川雄光¹⁾

PD2-1-6 『エビデンスに基づく生体肝移植後感染対策』

京都大学肝胆膵移植外科

海道利実、小倉靖弘、小川晃平、秦 浩一郎、吉澤 淳、八木真太郎、
内田洋一郎、富山浩司、岩崎純治、上本伸二、

PD2-1-7 『肝切除後創感染予防における皮下ドレーンの役割』

日本大学医学部消化器外科

中山壽之、高山忠利、大久保貴生、檜垣時夫、緑川 泰、

PD2-1-8 『肝管空腸吻合を伴う肝切除後胆汁漏対策：ショートステントと Blake ドレーンの有用性』

日本医科大学外科¹⁾、日本医科大学多摩永山病院外科²⁾

谷谷信彦¹⁾、真々田裕宏¹⁾、吉岡正人¹⁾、川野陽一¹⁾、清水哲也¹⁾、上田純志¹⁾、
吉田 寛²⁾、古川清憲¹⁾、内田英二¹⁾

PD2-1-9 『肝胆道外科周術期における分離細菌と薬剤感受性に関する国内横断的調査の研究報告』

札幌医科大学第一外科

水口 徹、川本雅樹、中村幸雄、太田盛道、目黒 誠、西館敏彦、沖田憲司、
信岡隆幸、木村康利、古畑智久、平田公一

PD2-1-10 『生体肝移植術後感染における分離菌の傾向と薬剤選択』

広島大学病院 診療支援部¹⁾、同 検査部²⁾、同 移植外科³⁾、同 感染症科⁴⁾

城市由美子¹⁾、小野寺一¹⁾、横崎典哉²⁾、尾上隆司³⁾、天野尋暢³⁾、田代裕尊³⁾、
大段秀樹³⁾、大毛宏喜⁴⁾

ランチオンセミナー 3 (LS3) 12月1日(木) 12:10 ~ 13:00 第4会場

「EBMに基づく外科侵襲期栄養管理、特に血糖管理の最前線 —実際のNST活動症例を通して—」

社会福祉法人雪の聖母会聖マリア病院小児外科診断部長

霧 知光

司会：竹山廣光（名古屋市立大学大学院医学研究科消化器外科学分野教授）

共催：アボットジャパン株式会社

イブニングセミナー 3 (ES3) 12月1日(木) 18:00 ~ 18:50 第4会場

「感染症 DIC における診断・治療—エキスパートコンセンサス後の知見を含めて—」

一宮市立市民病院救命救急センター長

真弓俊彦

司会：塚田一博（富山大学大学院消化器・腫瘍・総合外科教授）

共催：旭化成ファーマ株式会社

12月1日(木)
第5会場 八口一

スポンサードシンポジウム 2 (SP2-1 ~ 5) 12月1日(木) 8:00 ~ 9:30 第5会場
整形外科企画

「整形外科領域における周術期感染対策」

司会：菊地臣一（福島県立医科大学理事長兼学長）

勝呂 徹（東邦大学医学部整形外科学教室）

特別発言：横山 隆（安芸市民病院名誉院長）

SP2-1 『エビデンスからみた整形外科周術期感染管理』

福島県立医科大学医学部整形外科学講座

紺野慎一、二階堂琢也、菊地臣一

SP2-2 『人工膝関節手術に対する周術期管理の実際』

兵庫医科大学整形外科学教室

今村史明、清野大輔、諸岡孝俊、吉矢晋一

SP2-3 『股関節手術に伴う感染症－感染例からみた危険因子と周術期対策－』

福島県立医科大学附属病院地域連携部¹⁾、福島県立医科大学²⁾

青田恵郎¹⁾、菊地臣一²⁾

SP2-4 『脊椎インストゥルメンテーション手術後感染の予防と治療戦略』

獨協医科大学医学部医学科整形外科学

種市 洋、竹内大作、野原 裕

SP2-5 『難治性整形外科 SSI 対策』

大阪大学医学部附属病院感染制御部

浅利誠志

共催：メドライン・インターナショナル・ジャパン株式会社

要望演題 1 (RS1-1 ~ 4) 12月1日(木) 11:00 ~ 11:32 第5会場

「外科感染症対策と治療」

座長：有馬陽一（東邦大学医学部外科学第三講座）

RS1-1 『待機的消化器外科手術における HIV 感染の影響』

国立病院機構大阪医療センター外科

宮本敦史、辻江正徳、浅岡忠史、山本和義、安井昌義、池永雅一、宮崎道彦、
平尾素宏、藤谷和正、三嶋秀行、中森正二、辻仲利政

RS1-2 『潰瘍性大腸炎周術期の ESP 法による血中エンドトキシン値の推移』

滋賀医科大学外科学講座

清水智治、小幡 徹、目片英治、園田寛道、村田 聡、中村一郎、赤堀浩也、
三宅 亨、森 毅、谷 徹

RS1-3 『術後遠隔部位感染として急性前立腺炎を合併した症例の検討』

国立病院機構京都医療センター外科

畑 啓昭、花田圭太、森山沙也香、大倉敬之、谷 昌樹、村上隆英、奥知慶久、
小木曾聡、福田明輝、山口高史、坂田晋吾、大谷哲之、猪飼伊和夫、大和俊夫

RS1-4 『日本人におけるドリペネム投与に関するサンフォード感染症治療ガイドの検証』

関西医科大学外科

坂口達馬、徳原克治、豊川秀吉、道浦 拓、石崎守彦、山本智久、中根恭司、
権 雅憲

要望演題 2 (RS2-1 ~ 3)

12月1日(木) 11:32 ~ 11:56 第5会場

「デバイスと感染症」

座長：丸山 弘（日本医科大学多摩永山病院外科）

RS2-1 『スワングズカテーテル挿入部位からの感染予防の検討ーバイオパッチ使用の検討』

静岡市立静岡病院心臓血管外科

中井真尚

RS2-2 『炎症性腸疾患術後中心ライン関連血流感染の検討』

兵庫医科大学 下部消化管外科¹⁾、同 感染制御学²⁾

内野 基¹⁾、池内浩基¹⁾、松岡宏樹¹⁾、竹末芳生²⁾、富田尚裕¹⁾

RS2-3 『大腸癌手術患者における術前中心静脈栄養療法の在院日数と術後合併症に与える影響』

四日市社会保険病院 薬剤部¹⁾、同 外科²⁾

片山歳也¹⁾、石井雅昭²⁾、山本隆行²⁾、梅枝 覚²⁾

ランチョンセミナー 4 (LS4)

12月1日(木) 12:10 ~ 13:00 第5会場

「外科医として知っておきたい肺炎診療のガイドライン」

愛知医科大学大学院医学研究科感染制御学教授

三嶋廣繁

司会：相川直樹（慶應義塾大学名誉教授）

共催：ファイザー株式会社

12月1日(木)
第6会場 アゲイン

スポンサードシンポジウム 3 (SP3-1 ~ 5) 12月1日(木) 8:00 ~ 9:30 第6会場
小児外科企画

「小児外科領域における外科感染症の問題と対策」

司会：田口智章（九州大学大学院小児外科）

黒田達夫（慶應義塾大学小児外科）

特別発言：上本伸二（京都大学肝胆膵・移植外科教授）

SP3-1 『小児外科領域における手術部位感染の治療』

筑波大学大学院人間総合科学研究科小児外科

増本幸二

SP3-2 『新生児外科感染症とプロバイオティクス～プロバイオティクスは NEC 発症を予防できるか？～』

大阪府立母子保健総合医療センター小児外科

窪田昭男、川原央好、米田光宏、白石 淳、北島博之

SP3-3 『小児生体肝移植術後のサイトメガロウイルス感染症の現況と対策』

九州大学大学院医学研究院小児外科

柳 佑典、松浦俊治、林田 真、田尻達郎、田口智章

SP3-4 『小児外科におけるカテーテル感染症』

さいたま市立病院小児外科

中野美和子

SP3-5 『小児外科学認定施設における SSI 対策の現状 —全国アンケート調査—』

三重大学大学院医学系研究科消化管・小児外科

内田恵一、井上幹大、楠 正人

共催：帝人ファーマ株式会社

要望演題 3 (RS3-1 ~ 4) 12月1日(木) 11:00 ~ 11:32 第6会場

「高齢者における術後感染症対策」

座長：後藤田直人（国立がんセンター東病院上腹部外科）

RS3-1 『70 歳以上の高齢者の肝切除術後手術部位感染』

横浜市立大学医学研究科消化器・腫瘍外科学

中川和也、田中邦哉、野尻和典、武田和永、上田倫夫、杉田光隆、松山隆生、
谷口浩一、熊本宜文、森隆太郎、遠藤 格、

RS3-2 『高齢者膵切除例における術後感染症の検討』

東海大学消化器外科

加藤賢一郎、中郡聡夫、矢澤直樹、古川大輔、村上健太郎、小澤壯治、貞廣荘太郎、
安田聖栄、生越生喬二

- RS3-3 『80歳以上の高齢者における臍頭十二指腸切除術後感染症とその対策』
 国立がん研究センター東病院
 杉本元一、後藤田直人、加藤祐一郎、木下敬弘、高橋進一郎、小西 大、
 木下 平
- RS3-4 『高齢者大腸穿孔に起因したSIRS症例に対するPMX-DHPの治療成績』
 金沢医科大学氷見市民病院一般消化器外科
 齋藤人志、林 圭、松澤 研、向井弘圭、吉谷新一郎、高島茂樹

要望演題 4 (RS4-1 ~ 3) 12月1日(木) 11:32 ~ 11:56 第6会場

「がん治療中に起こる種々の感染症対策とその治療」

座長：渡辺昌則（日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター）

- RS4-1 『下部直腸癌に対する術前化学療法放射線療法後の術後感染症についての検討』
 兵庫医科大学外科学講座下部消化管外科
 山野智基、野田雅史、塚本 潔、久野隆史、山岸大介、浜中美衣、小林政義、
 松原長秀、富田尚裕
- RS4-2 『食道癌術後 Surgical Site Infection と組織酸素代謝失調に関する検討』
 山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学
 兼清信介、武田 茂、渡邊裕策、筒井理仁、吉野茂文、岡 正朗
- RS4-3 『癌性悪液質患者における CV ポートの感染率に関する検討』
 ベルランド総合病院外科・乳腺外科
 山崎圭一、市川 剛、堀井勝彦、亀山雅男

ランチョンセミナー 5 (LS5) 12月1日(木) 12:10 ~ 13:00 第6会場

「機能壊滅病院からの報告～あの時何が起きていたのか～」

石巻市立病院外科部長・東北大学医学部臨床准教授

内山哲之

司会：岡 正朗（山口大学医学部附属病院院長・
 山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学教授）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

12月1日(木)

第7会場 バンケットルーム

一般演題 (O-1 ~ 4) 12月1日(木) 8:00 ~ 8:32 第7会場

「フルニエ・壊死性筋膜炎」

座長：真弓俊彦（一宮市立市民病院救命救急センター）

O-1 『直腸癌穿通による Fournier's gangrene の一例』

三重県立総合医療センター

渡部秀樹、登内 仁、野口智史、今岡裕基、横江 毅、尾嶋英紀、小西尚巳、伊藤秀樹、池田哲也

O-2 『人工肛門造設が有用であった Fournier 壊疽の一例』

大阪労災病院外科

三宅祐一郎、清水潤三、長谷川順一、榊田浩禎、荒木麻利子、大澤日出樹、李谷友香子、金 浩敏、相馬大人、廣田昌紀、森島宏隆、金よう国、三方彰喜、松並展輝、根津理一郎

O-3 『仙骨部褥瘡から敗血症を来し腹壁創と背部創の植皮を2回施行した壊死性筋膜炎の1例』

帝京大学ちば総合医療センター外科

岡野美々、手塚 徹、安田秀喜、幸田圭史、鈴木正人、山崎将人、小杉千弘、村田聡一郎、今井健一郎、平野敦司、白神梨沙、板垣亮平

O-4 『G 群溶連菌による劇症型溶連菌感染症により下肢切断を必要とした2症例』

山口大学医学部附属病院集中治療部

松本 聡、白源清貴、北原正博、深光 岳、松田憲昌、若松弘也、松本美志也

一般演題 (O-5 ~ 10) 12月1日(木) 8:32 ~ 9:20 第7会場

「症例①」

座長：辻本広紀（防衛医科大学校外科学講座）

O-5 『食道癌に併発した腸管囊腫様気腫症の1例』

大分大学医学部総合外科学第二

諸鹿俊彦、山下真一、山本 聡、武野慎祐、宮脇美千代、末廣修治、亀井美玲、徳石恵太、阿南健太郎、川原克信

O-6 『半定量法でのプロカルシトニン偽陽性を呈した食道癌術後 ARDS の1例』

山口大学医学部附属病院集中治療部

北原正博、白源清貴、松田憲昌、松本 聡、若松弘也、松本美志也

O-7 『食道癌術後の膿瘍から ARDS 合併に対してドレナージ・集中治療管理により救命できた症例の検討』

熊本大学医学部附属病院集中治療部

蒲原英伸、前川 愛、徳永竜馬、岩槻政晃、渡辺雅之、城野剛充、鷺島克之、馬場秀雄、木下順弘

- 0-8 『外傷性小腸穿孔術後に発症した遅発性腹腔内膿瘍の1例』
国立岩国医療センター外科
藤原裕子、竹原清人、青木秀樹、武田 正、森廣俊昭、田中屋宏爾、竹内仁司
- 0-9 『長期の病悩期間を要した小腸皮膚瘻を切除することによりQOLの向上が得られたクローン病の2例』
岩手県立久慈病院外科
遠野千尋、下沖 収、松井雄介、高橋正統、藤社 勉、皆川幸洋、阿部 正
- 0-10 『AIDSに合併した仮性脾動脈瘤の1手術例』
琉球大学大学院消化器・腫瘍外科学講座
中川 裕、長濱正吉、金城達也、狩俣弘幸、白石祐之、西巻 正

一般演題 (0-11 ~ 15)

12月1日(木) 9:20 ~ 10:00 第7会場

「症例②」

座長：根本 洋 (昭和大学藤が丘病院消化器外科)

- 0-11 『急性虫垂炎術後、緊急手術を要した縫合糸膿瘍の2例』
佐世保中央病院外科
清水輝久、重政 有、久永 真、草場隆史、羽田野和彦、梶原啓司、佐々木伸文、碓 秀樹
- 0-12 『虫垂炎術後の腸閉塞治療中に発症した、bacterial translocationに起因すると思われた、急速に全身状態が増悪した敗血症の1例』
釧路赤十字病院外科
近江 亮、三栖賢次郎、山吹 匠、米森敦也、真木健裕、猪俣 斉、二瓶和喜
- 0-13 『肝切除術後硬膜外膿瘍の1例』
嬉野医療センター
荒木政人、武岡陽介、濱田聖暁、古川克郎、柴崎信一、岡 忠之
- 0-14 『ERCP後消化管穿孔後から死亡にいたるまで』
帝京大学医学部外科
豊田真之、佐野圭二、天野穂高、三浦文彦、和田慶太、渋谷 誠、前野佐和子
- 0-15 『血中白血球数低下を示した卵管膿瘍破裂の1例』
新潟県厚生連糸川総合病院外科¹⁾、富山大学医学薬学研究部消化器・腫瘍・総合外科²⁾
田澤賢一¹⁾、土屋康紀¹⁾、新保雅宏¹⁾、山岸文範¹⁾、嶋田 裕²⁾、塚田一博²⁾

一般演題 (O-16 ~ 20)

12月1日(木) 11:00 ~ 11:40 第7会場

「DIC・トロンボモジュリン・HMGB-1」

座長：佐々木淳一（慶應義塾大学医学部救急医学教室）

- O-16 『感染症性 DIC に対する遺伝子組み換えトロンボモジュリンの有効性の検討』
三重大学医学部附属病院救命救急センター
畑田 剛、大森教成、今井 寛
- O-17 『当院における DIC に対する遺伝子組み換えトロンボモジュリンの臨床使用成績』
市立札幌病院外科
西澤竜矢、菊地一公、上坂貴洋、深作慶友、奥田耕司、大島隆宏、武田圭佐、
大川由美、三澤一仁、佐野秀一
- O-18 『大腸穿孔症例における AT-III 活性と敗血症の重症度、DIC 発症との関係』
埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科
桑原公亀、石橋敬一郎、近谷賢一、石畝 亨、岡田典倫、隈元謙介、芳賀紀裕、
石田秀行
- O-19 『大腸穿孔症例における HMGB-1 の PMX-DHP 前後における推移』
埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科
近谷賢一、石橋敬一郎、桑原公亀、田島雄介、傍島 潤、芳賀紀裕、石田秀行
- O-20 『大腸穿孔症例および大腸癌待機手術症例における HMGB-1 術後推移』
埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科
石橋敬一郎、桑原公亀、近谷賢一、田島雄介、傍島 潤、石畝 亨、大澤智徳、
岡田典倫、隈元謙介、芳賀紀裕、石田秀行